付属資料・目次

改修特記仕様書（抜粋）	特１
現場説明付記事項・配置図・詳細配置図	１
実験排水処理設備　配管系統図（改修）	２
中央監視入出力一覧表	３
（北部構内）システム系統図	４
（北部構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	５
（本部構内）システム系統図	６
（本部構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	７
（吉田南構内）システム系統図	８
（吉田南構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	９
（医学部構内）システム系統図	１０
（医学部構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	１１
（薬学部構内）システム系統図	１２
（薬学部構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	１３
（病院西構内）システム系統図	１４
（病院西構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	１５

京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事

Ⅰ 工 事 概 要

1.工事場所　京都市左京区北白川追分町(京都大学北部構内)　京都市左京区吉田本町(京都大学本部構内)
京都市左京区吉田二本松町(京都大学吉田南構内)　京都市左京区吉田橋町(京都大学医学部構内)
京都市左京区聖護院川原町５３(京都大学病院西構内)　京都市左京区吉田下阿達町(京都大学薬学部構内)

2.完成期限　令和７年３月２８日（金曜日）

3.建物概要

建　物　名　称		北部構内 実験排水 貯留槽上家	本部構内 実験排水 貯留槽上家	吉田南構内 実験排水 貯留槽上家	医学部構内 実験排水 貯留槽上家	薬学部構内 実験排水 貯留槽上家	病院西構内 実験排水 貯留槽上家
工　　種		模様替	模様替	模様替	模様替	模様替	模様替
構　造　・　階　数		R2	R1	R2	R1	R2	R1
建築基準法による	建築面積(㎡)	315㎡	66㎡	66㎡	61㎡	144㎡	110㎡
	延べ面積(㎡)	315㎡	66㎡	90㎡	61㎡	144㎡	110㎡
消防法施行令別表第一の区分		(7)項	(7)項	(7)項	(7)項	(7)項	(7)項
建物使用の有無		⊙有　・無	⊙有　・無	⊙有　・無	⊙有　・無	⊙有　・無	⊙有　・無
備　　考							

4.工事種目
⊙ 印の付いたものが対象工事種目

工　事　種　目	工 事 種 別					
建　物　名　称	北部構内 実験排水 貯留槽上家	本部構内 実験排水 貯留槽上家	吉田南構内 実験排水 貯留槽上家	医学部構内 実験排水 貯留槽上家	薬学部構内 実験排水 貯留槽上家	病院西構内 実験排水 貯留槽上家
空気調和設備						
換気設備						
排煙設備						
自動制御設備	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙
動力設備	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙
衛生器具設備						
給水設備						
排水設備						
給湯設備						
消火設備						
実験排水処理設備	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙
撤去工事	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙

5.指定部分　⊙無　・有　対象部分（　　）
指定部分工期　令和　年　月　日（　曜日）

6.概成工期　⊙無　・有　令和　年　月　日（　曜日）　(1.2.1)[1.2.1]

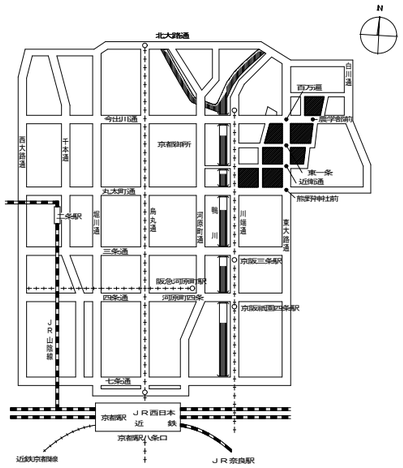
Ⅱ 工 事 仕 様

1.共通仕様

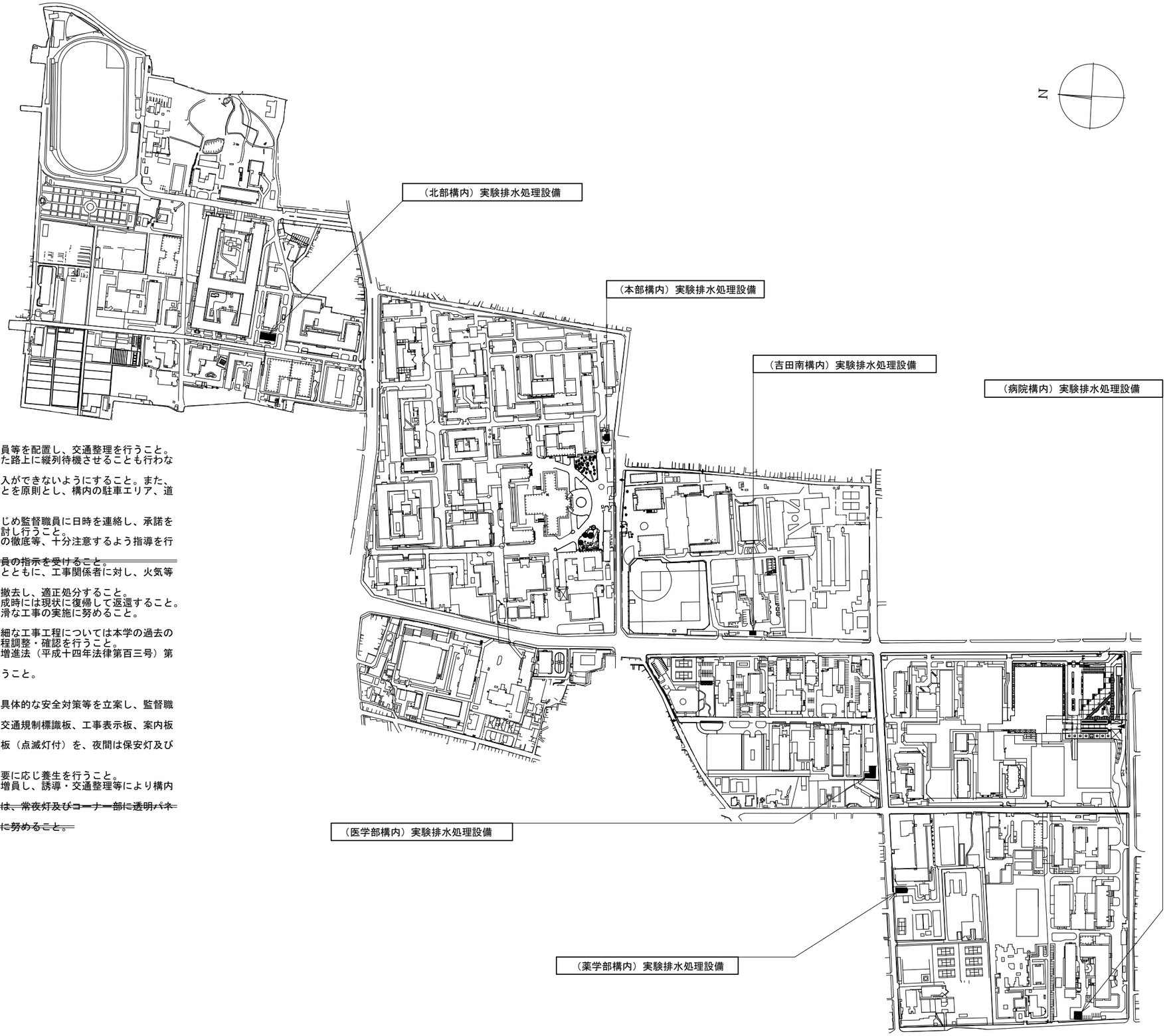
（１）国立大学法人京都大学契約事務取扱要領(平成１６年４月１日財務担当理事裁定制定)別記1の
工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書によるほか、○のついたものを適用する。
⊙ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和４年版)(以下「標準仕様書」という。)
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和４年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
⊙ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和４年版)(以下「標準図」という。)
⊙ 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和４年版)(以下「文科仕様書」という。)
⊙ 文部科学省機械設備標準図(特記基準)(平成３１年版)(以下「文科標準図」という。)
⊙ 工事写真撮影要領(令和５年９月)

２．施工条件
この工事現場では、次の施工条件による
(1)作業時間は、午前８時００分より午後１８時を原則とする。
(2)工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入時などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。
(3)騒音・振動・粉塵の発生する作業は，低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。
(4)臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。
(5)学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
(6)工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。
(7)その他建物内や敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進めること。
(8)工事用地は、工事完成時には原状に復帰して返還すること。
(9)工事用地内の環境美化に努めること。
(10)構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
(11)実験排水処理設備貯留槽内改修においては酸素欠乏症・硫化水素中毒防止の対策を講じること。

工事名称 京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	縮尺　Ａ１：－ Ａ３：－	図面番号 特１
図面名称 改修特記仕様書（抜粋）	令和　６年　７月	



案 内 図



現場説明付記事項

1　工事施工上の注意事項

1）　車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。

2）　工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入りができないようにすること。また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。

3）　学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。

4）　撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。

5）　教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。

~~6）　埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。~~

7）　工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。

8）　支障となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。

9）　工事用地は、除草等常に良好な環境を保持すると共に工事完成時には現状に復帰して返還すること。

10）　同一構内の他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。

11）　作業時間は、午前８時から午後６時を原則とすること。

12）　センター試験期間および入学試験期間は作業不可とする。詳細な工事工程については本学の過去のアカデミックカレンダーも参考にし、監督職員との協議により工程調整・確認を行うこと。

13）　構内における喫煙については、監督職員と協議のうえ、健康増進法（平成十四年法律第百三号）第二十五条の五に基づく受動喫煙対策を講ずること。

14）　監督職員の指示により、別途発注工事との連絡調整会議を行うこと。

2　工事中の構内安全対策について

工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。

1）　監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。

2）　掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。

4）　大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。

5）　大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。

~~6）　仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナー部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。~~

~~7）　パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなど事故防止に努めること。~~

凡　例

記　号	内　　容
▨	本工事建物

工事名 京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事		図面番号
図面名称 現場説明付記事項・案内図・配置図	縮尺 A1: － A3: －	1

凡例

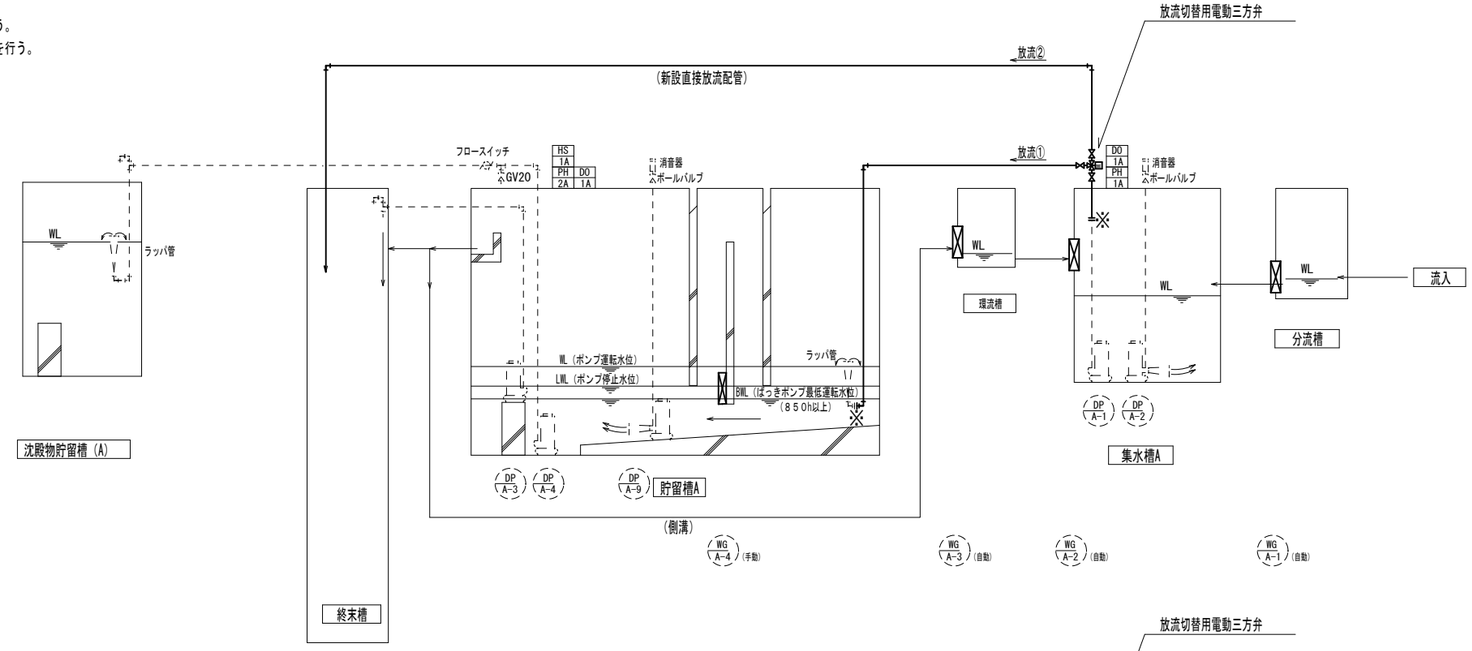
記号	名称	仕様・規格	備考
――――	実験排水管（水槽内）	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP
	（一般）	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	D-VA
―⊣⊲― ―⊠―	弁類	GV（仕切弁）、BV（ﾊﾞﾀﾌﾗｲﾊﾞﾙﾌﾞ）	

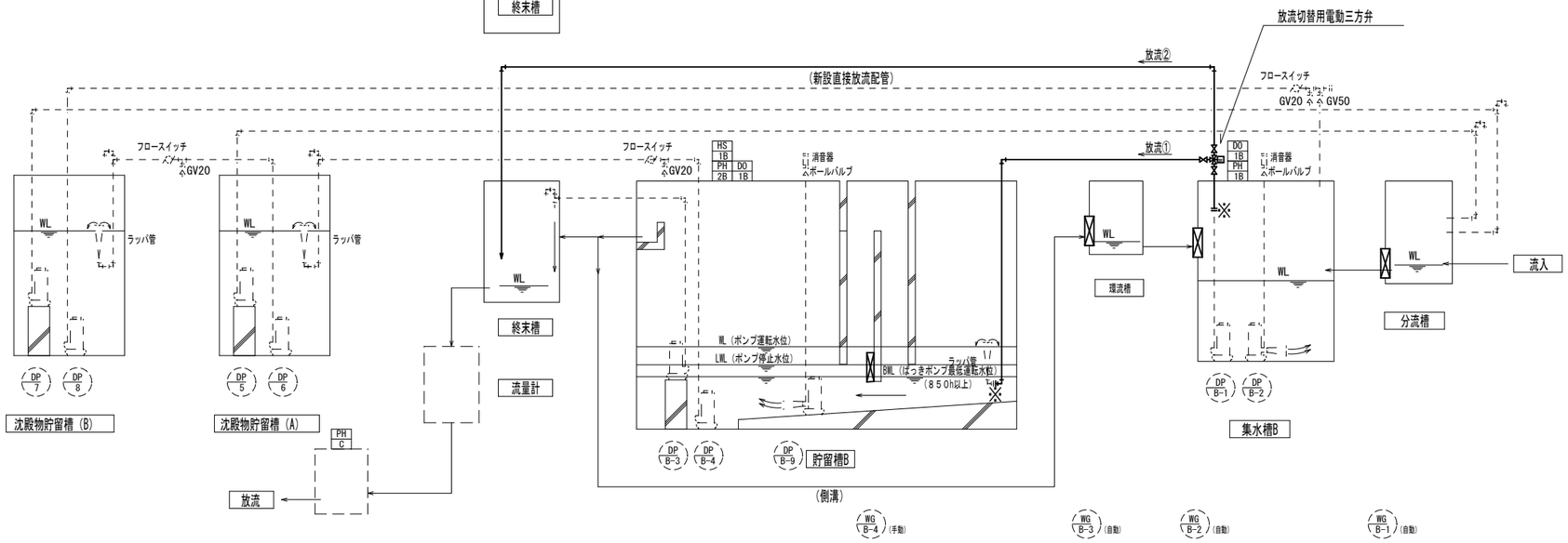
改修内容　（各実験排水施設共通）

1，　各集水槽から貯留槽又は終末槽へPH濃度による排水切替（電動３方弁）工事を行う。
2，　各貯留槽ポンプを手動運転からフロートスイッチによる水位制御自動運転に更新を行う。
3，　水路切替ゲート弁の更新を行う。

注意条項

1，　施工は排水停止を伴わないようA槽又はB槽毎に行うこと。





系統図

凡例

記号	名称	
PH 1A	ＰＨ計	（既設）
DO 1A	溶存酸素計	（既設）
HS 1A	硫化水素濃度計	（既設）
⊠	水路切替ゲート	（更新）

注記

1，改修範囲は太線で示し、細線及び破線は既設を示す。
2，※　部は、既設配管接続箇所を示す。
3，作業はA槽系統又はB槽系統毎に行う事。

工事名 京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事		図面番号
図面名称 実験排水処理設備　配管系統図（改修）	縮尺 A1：－ A3：－	2

改修内容　（各実験排水施設共通）

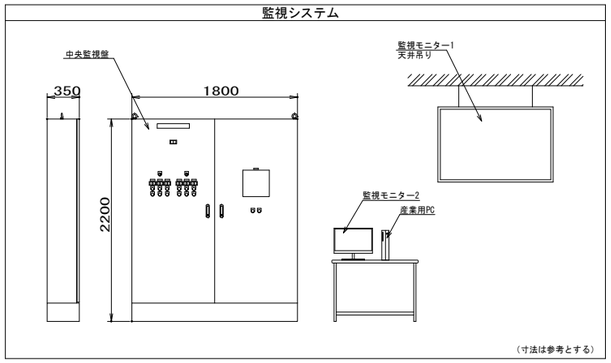
1，　既設自動制御盤の更新を行う。（別位置に新設し切替を行う）

2，　各切替作業は、A槽系統又はB槽系統毎に行う事。

3，　未更新の計測機器類の更新を行う。

機　器　名　称	仕　　様	電　源			台　数	備　考
		相	電圧	容量		
監視システム	構成 【中央監視盤】 （1）排水処理施設の各計測機器の測定値データの収集および測定値異常の外部出力。 （2）排水処理施設の各機器の動作状態の収集および制御。 （3）構内の各pH計による測定値データの収集および測定値異常の外部出力。 【監視モニター1】 （1）モニターのサイズは75型。 （2）排水処理施設の機器の動作状態、各計測機器の測定値を表示。 （3）構内に設置されている各所pH計測定値を一括表示。 【監視モニター2】 （1）モニターのサイズは22型。 （2）排水処理施設の機器の動作状態、各計測機器の測定値、構内の各pH計測定値を表示。 （3）電動弁、上澄排水ポンプの操作。 （4）警報および各計測機器の測定値のロギング・トレンド、各機器の運転積算時間を表示。 （5）警報出力やロギング条件などの必要な各種パラメータを設定。 【監視システム産業用PC】 OS：Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC (64bit) CPC：Core i3-8145UE メモリ：8GB ストレージ：SSD 256GB 【その他】 （1）排水処理施設および放流水路の計測機器測定値と構内pHの1時間ごとの最大・最小値の日報・月報をCSV形式で保存。	単	100V	6kW	1	

監視システム

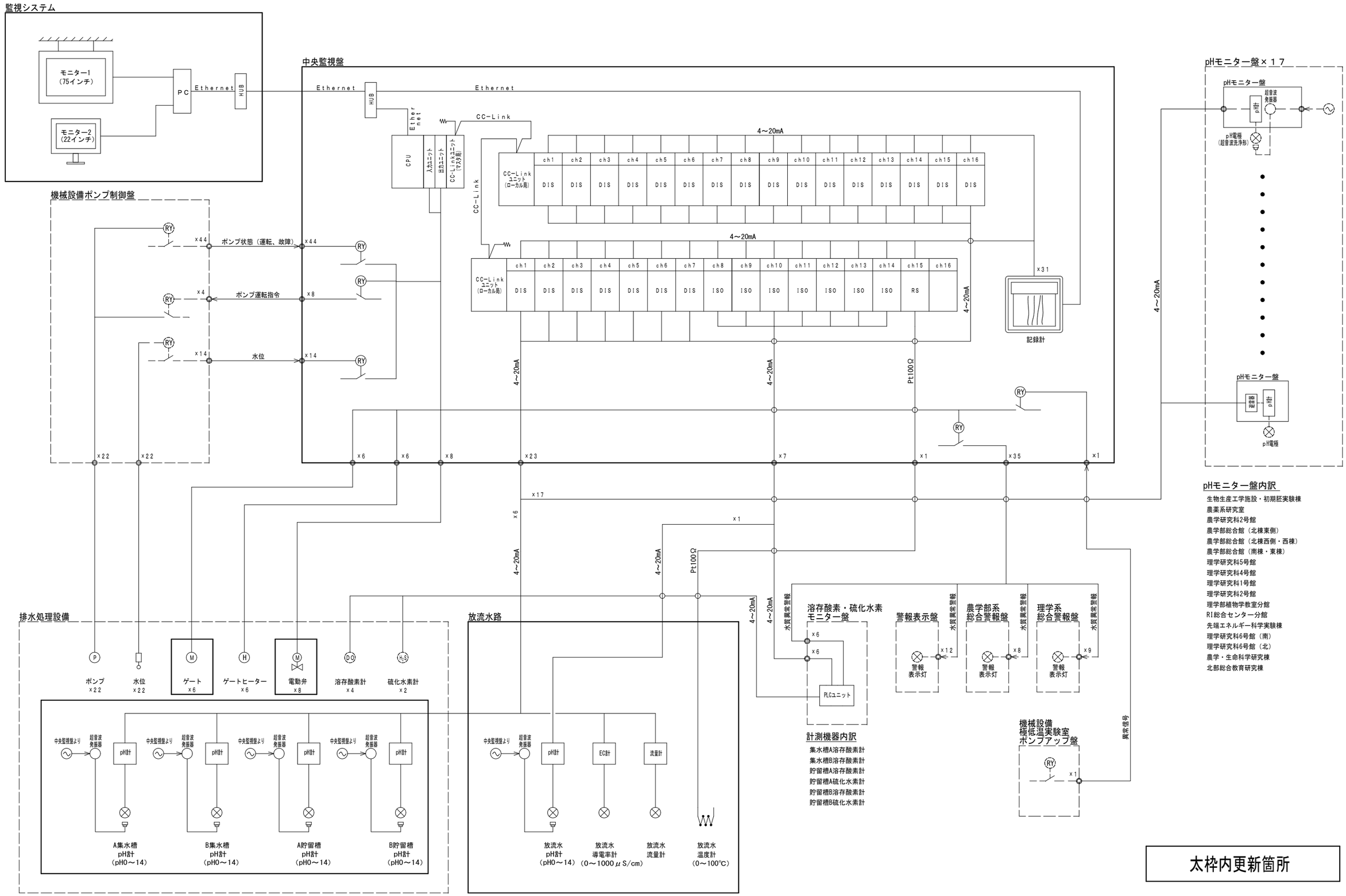


（寸法は参考とする）

中央監視盤入出力一覧表

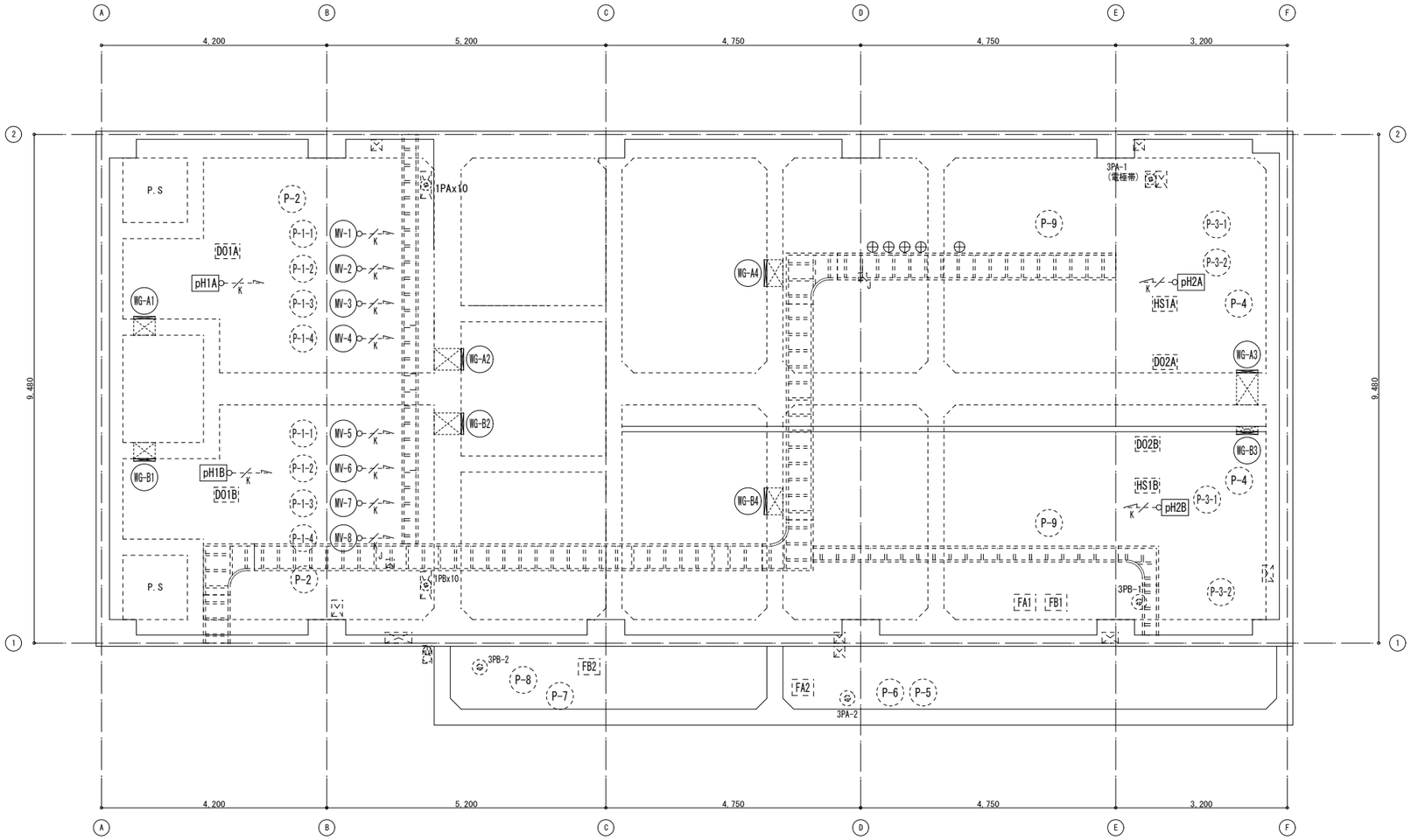
名　　称	信号取合先	操　作		表　示		計測値表示						合　計	備　考
		設定	オンオフ 開閉	状態	警報	pH	DO	H_2S	EC	流量	温度		
【（北部）中央監視盤】													
排水処理設備 集水槽ポンプ	動力制御盤		4	10	10								
排水処理設備 貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	6	6								
排水処理設備 沈殿物貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	4	4								
排水処理設備 ゲート			6	6	6								
排水処理設備 集水槽電動弁			8	8	16								
排水処理設備 集水槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 貯留槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 沈殿物貯留槽水位	動力制御盤			6	2								
排水処理設備 集水槽計測機器	各計測機器	1			4	2	2						
排水処理設備 貯留槽計測機器	各計測機器	1			6	2	2	2					
放流水路 計測機器	各計測機器	1			4	1			1	1	1		
構内ｐH	各構内ｐH計	1			17	17							
計		4	22	48	79	22	4	2	1	1	1	184	
【（本部）中央監視盤】													
排水処理設備 集水槽ポンプ	動力制御盤		4	10	10								
排水処理設備 貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	6	6								
排水処理設備 沈殿物貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	4	4								
排水処理設備 ゲート			6	6	6								
排水処理設備 集水槽電動弁			8	8	16								
排水処理設備 集水槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 貯留槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 沈殿物貯留槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 集水槽計測機器	各計測機器	1			4	2	2						
排水処理設備 貯留槽計測機器	各計測機器	1			6	2	2	2					
放流水路 計測機器	各計測機器	1			4	1			1	1	1		
構内ｐH	各構内ｐH計	1			22	22							
計		4	22	46	84	27	4	2	1	1	1	192	
【（吉田南）中央監視盤】													
排水処理設備 集水槽ポンプ	動力制御盤		4	10	10								
排水処理設備 貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	4	4								
排水処理設備 沈殿物貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	4	4								
排水処理設備 ゲート			6	6	6								
排水処理設備 集水槽電動弁			8	8	16								
排水処理設備 集水槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 貯留槽水位	動力制御盤			6	2								
排水処理設備 沈殿物貯留槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 集水槽計測機器	各計測機器	1			4	2	2						
排水処理設備 貯留槽計測機器	各計測機器	1			6	2	2	2					
放流水路 計測機器	各計測機器	1			4	1			1	1	1		
構内ｐH	各構内ｐH計	1			5	5							
計		4	21	46	65	10	4	2	1	1	1	155	
【（医学部）中央監視盤】													
排水処理設備 集水槽ポンプ	動力制御盤		4	8	8								
排水処理設備 貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	4	4								
排水処理設備 沈殿物貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	4	4								
排水処理設備 ゲート			6	6	6								
排水処理設備 集水槽電動弁			6	6	12								
排水処理設備 集水槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 貯留槽水位	動力制御盤			6	2								
排水処理設備 沈殿物貯留槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 集水槽計測機器	各計測機器	1			4	2	2						
排水処理設備 貯留槽計測機器	各計測機器	1			6	2	2	2					
放流水路 計測機器	各計測機器	1			4	1			1	1	1		
構内ｐH	各構内ｐH計	1			13	13							
計		4	21	42	67	18	4	2	1	1	1	161	
【（薬学部）中央監視盤】													
排水処理設備 集水槽ポンプ	動力制御盤		4	10	10								
排水処理設備 貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	6	6								
排水処理設備 沈殿物貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	4	4								
排水処理設備 ゲート			6	6	6								
排水処理設備 集水槽電動弁			8	8	16								
排水処理設備 集水槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 貯留槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 沈殿物貯留槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 集水槽計測機器	各計測機器	1			4	2	2						
排水処理設備 貯留槽計測機器	各計測機器	1			6	2	2	2					
放流水路 計測機器	各計測機器	1			4	1			1	1	1		
構内ｐH	各構内ｐH計	1			6	6							
計		4	22	46	68	11	4	2	1	1	1	160	
【（病院西）中央監視盤】													
排水処理設備 集水槽ポンプ	動力制御盤		4	10	10								
排水処理設備 貯留槽ポンプ	動力制御盤		3	8	8								
排水処理設備 沈殿物貯留槽ポンプ	動力制御盤		2	4	4								
排水処理設備 ゲート	動力制御盤		4	4	4								
排水処理設備 集水槽電動弁			8	8	16								
排水処理設備 集水槽水位	動力制御盤			4	2								
排水処理設備 貯留槽水位	動力制御盤			2	2								
排水処理設備 沈殿物貯留槽水位	動力制御盤			6	2								
排水処理設備 集水槽計測機器	各計測機器	1			4	2	2						
排水処理設備 貯留槽計測機器	各計測機器	1			6	2	2	2					
放流水路 計測機器	各計測機器	1			4	1			1	1	1		
構内ｐH	各構内ｐH計	1			24	24							
計		4	21	48	86	29	4	2	1	1	1	197	

工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	A１：－ A３：－	3
図面名称 中央監視入出力一覧表	令和　６年　７月	

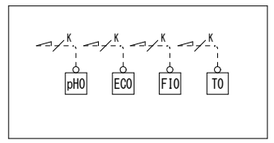


工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	A１：－ A３：－	4
図面名称 （北部構内）システム系統図	令和　６年　７月	

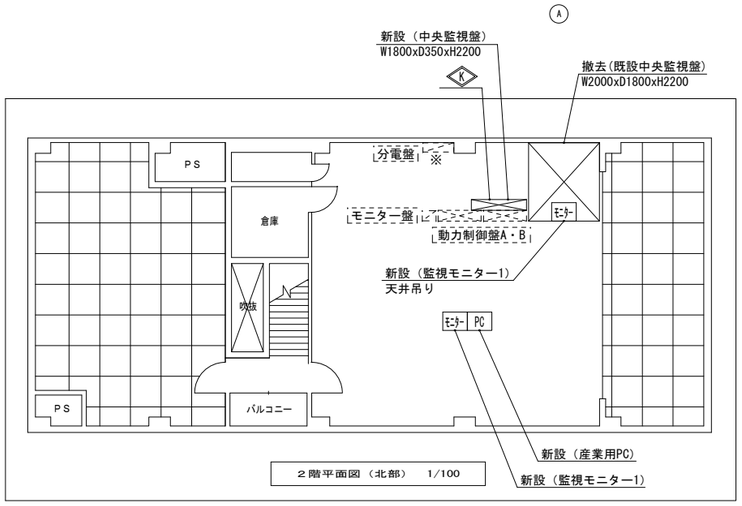
凡例		
1.図中、特記なき配線（配管）は下記のとおりとする。		
	露出配管	
	ケーブル配線	
	既設管路	
	EM-CE2° -2C	（電源）
	EM-CEE1.25° -6C	（電動弁）
	EM-CEES1.25° -2C	（計測）
	EM-CEES1.25° -3C	（計測）
2.図中、特記なきシンボルは下記のとおりとする。		
	プルボックス	
	100Vジョイント用　150□x100	
P-x	ポンプ	
MV-x	電動弁	（設備工事）
WG-x	ゲート	（設備工事）
Fxx	フロースイッチ（既設）	
pHxx	pH計	
ECxx	導電率計	
FIxx	流量計	
Txx	温度計	
DOxx	溶存酸素計（既設）	
HSxx	硫化水素濃度計（既設）	
ﾓﾆﾀｰ	監視システム用モニター	
PC	監視システム用パソコン	
rP	電極（既設）	



貯留槽平面図（北部）　1/50



放流水路（放流水質計測機器）



２階平面図（北部）　1/100

2F 中央監視盤

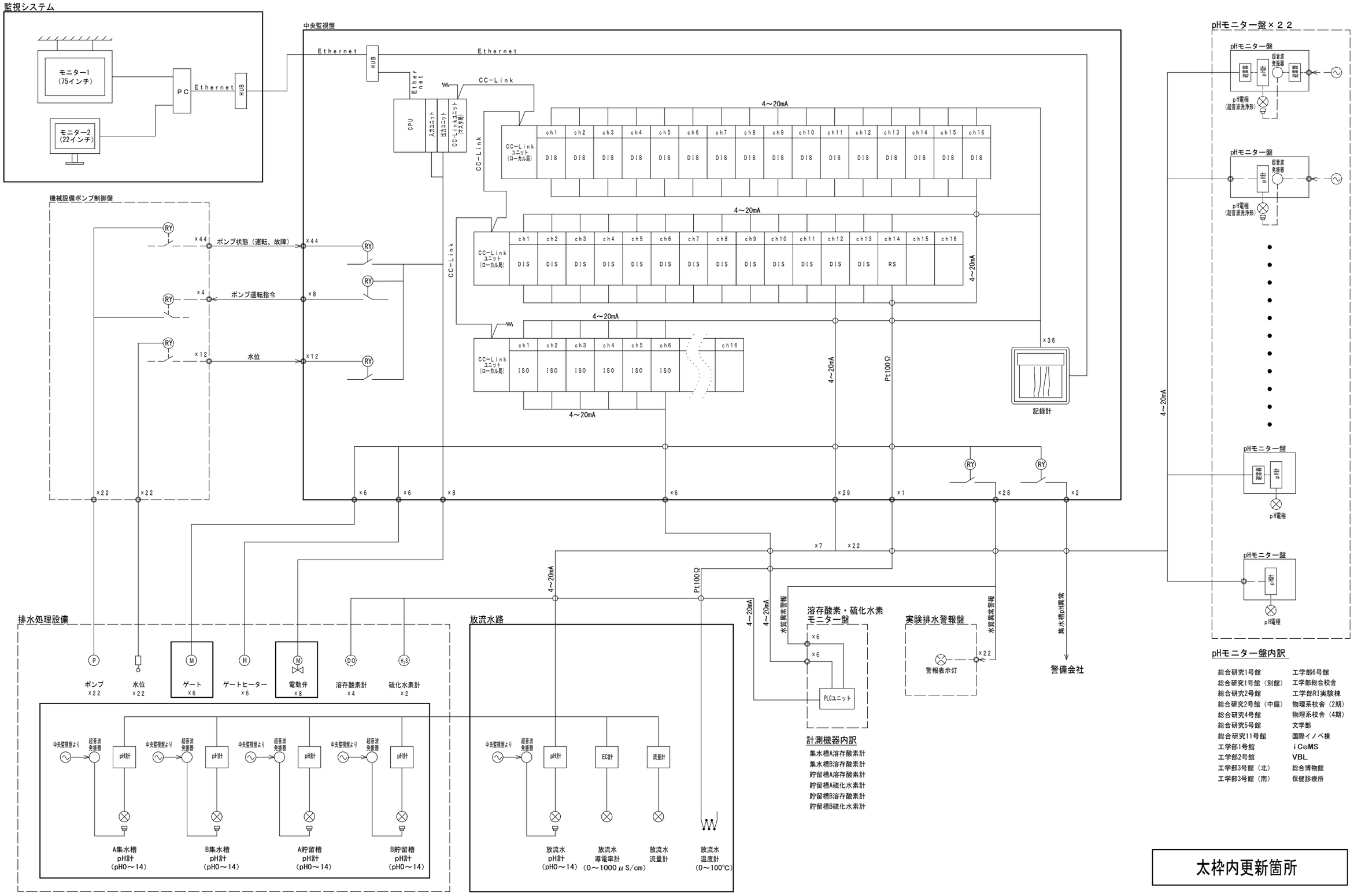
負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ
MV-1	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH1A	pH計	—	CE2° -2C
MV-2	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-3	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH1B	pH計	—	CE2° -2C
MV-4	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-5	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH2A	pH計	—	CE2° -2C
MV-6	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-7	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH2B	pH計	—	CE2° -2C
MV-8	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
WG-A1	ゲート	0.75	CE2° -3C	pH0	pH計	—	CE2° -2C
WG-A2	ゲート	0.75	CE2° -3C				CEES1.25° -2C
WG-A3	ゲート	0.75	CE2° -3C	EC0	導電率計	—	CEES1.25° -2C
WG-B1	ゲート	0.75	CE2° -3C	FI0	流量計	—	CEES1.25° -2C
WG-B2	ゲート	0.75	CE2° -3C	T0	温度計	—	CEES1.25° -3C
WG-B3	ゲート	0.75	CE2° -3C				

更新機器・計器の配線は
既設利用とする。

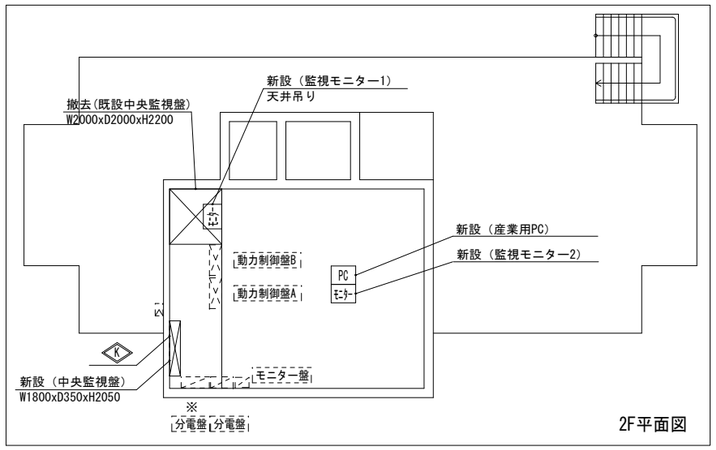
注記

1，　※　部は、既設分電盤に下記のブレーカーの増設及び撤去・新設を行う。
2，　増設：1-100,20/20（MCCB）、撤去：3-200,50/20、新設：3-200,→50/50（MCCB）
3，　⊕　部は、2階床ダイヤモンド開口を示す。（１００φx５か所）
4，　壁・床のハツリ工事（ダイヤモンド開口含む）行う場合は必ず走査式埋設物調査
　　又は放射線透過検査を行う事。
5，　貫通後は穴埋めを行う事。
6，　既設盤撤去後の床補修は行う事。

工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	A１：－ A３：－	5
図面名称 （北部構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	令和　６年　７月	



工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	A１：－ A３：－	6
図面名称 （本部構内）システム系統図	令和　６年　７月	



2F平面図

注記

1．　※　部は、既設分電盤に下記のブレーカーの増設及び撤去・新設を行う。
2．　増設：1-100,20/20（MCCB）、撤去：3-200,50/20、新設：3-200,→50/50（MCCB）
3．　既設盤撤去後の床補修は行う事。

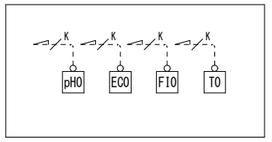
凡例

1.図中、特記なき配線（配管）は下記のとおりとする。

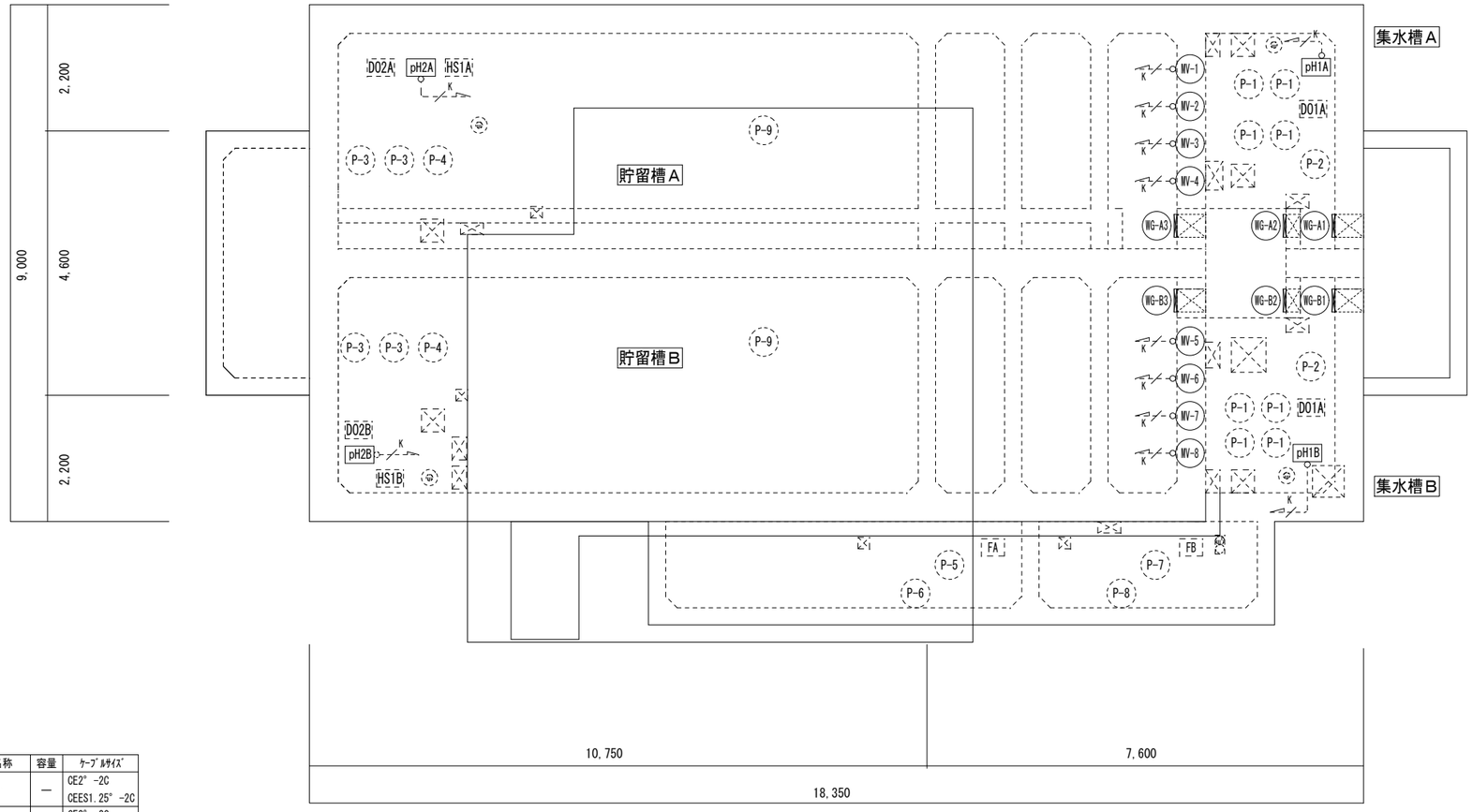
----------	露出配管	
—·—·—·—	ケーブル配線	
- - - - - -	既設管路	
-/-K-	EM-CE2° -2C	（電源）
	EM-CEE1.25° -6C	（電動弁）
	EM-CEES1.25° -2C	（計測）
	EM-CEES1.25° -3C	（計測）

2.図中、特記なきシンボルは下記のとおりとする。

⊠	ブルボックス	
P-x	ポンプ	
MV-x	電動弁	（設備工事）
WG-x	ゲート	（設備工事）
Fxx	フロースイッチ（既設）	
pHxx	pH計	
ECxx	導電率計	
FIxx	流量計	
Txx	温度計	
DOxx	溶存酸素計（既設）	
HSxx	硫化水素濃度計（既設）	
モニター	監視システム用モニター	
PC	監視システム用パソコン	



放流水路（放流水質計測機器）

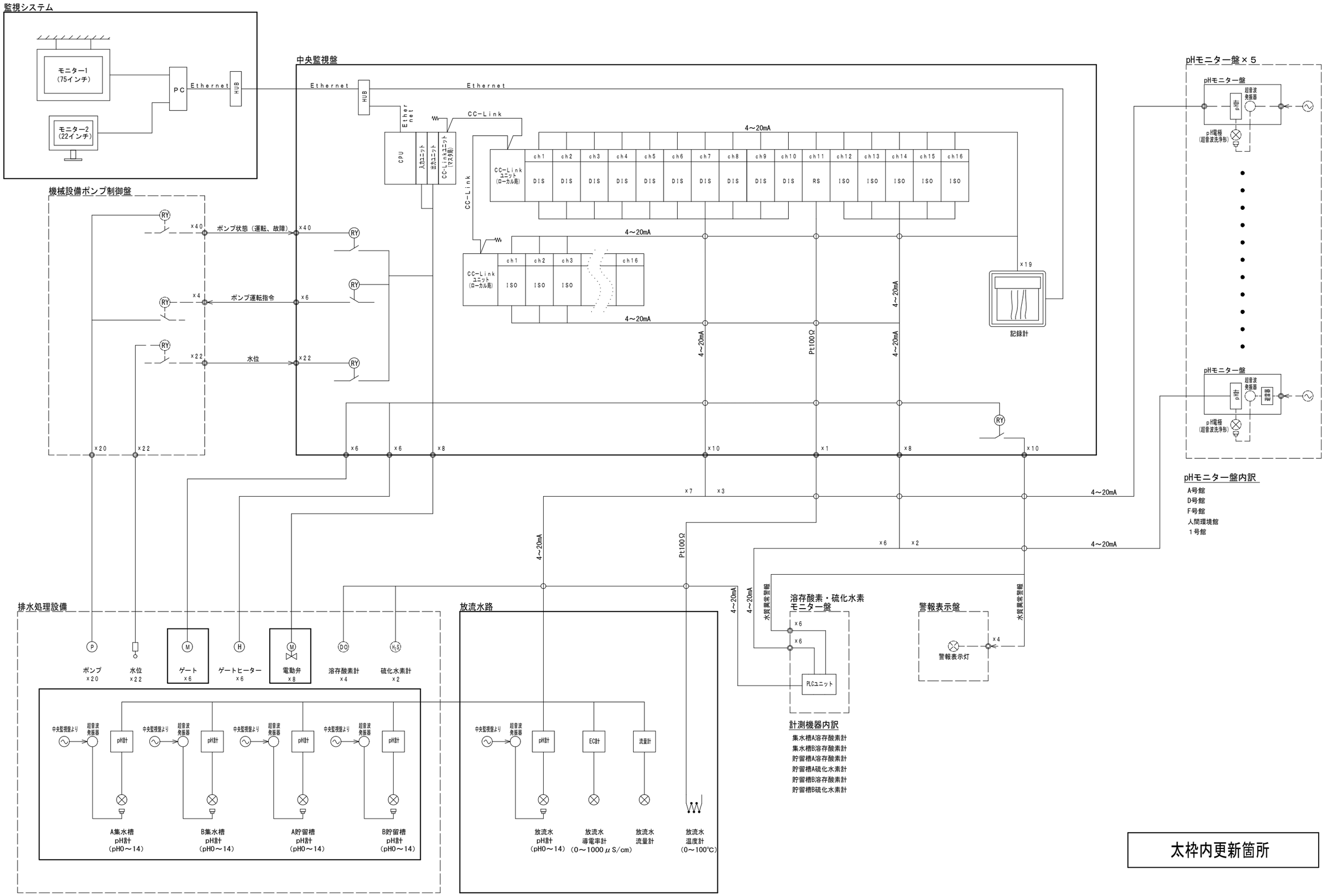


K　2F 中央監視盤

負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ
MV-1	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH1A	pH計	—	CE2° -2C
MV-2	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-3	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH1B	pH計	—	CE2° -2C
MV-4	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-5	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH2A	pH計	—	CE2° -2C
MV-6	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-7	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH2B	pH計	—	CE2° -2C
MV-8	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
WG-A1	ゲート	0.75	CE2° -3C	pH0	pH計	—	CE2° -2C
WG-A2	ゲート	0.75	CE2° -3C				CEES1.25° -2C
WG-A3	ゲート	0.75	CE2° -3C	EC0	導電率計	—	CEES1.25° -2C
WG-B1	ゲート	0.75	CE2° -3C	FI0	流量計	—	CEES1.25° -2C
WG-B2	ゲート	0.75	CE2° -3C	T0	温度計	—	CEES1.25° -3C
WG-B3	ゲート	0.75	CE2° -3C				

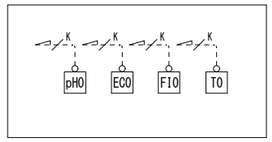
更新機器・計器の配線は
既設利用とする。

工事名称	京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	縮尺	A１：－ A３：－
図面名称	（本部構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	令和　６年　７月	図面番号 7

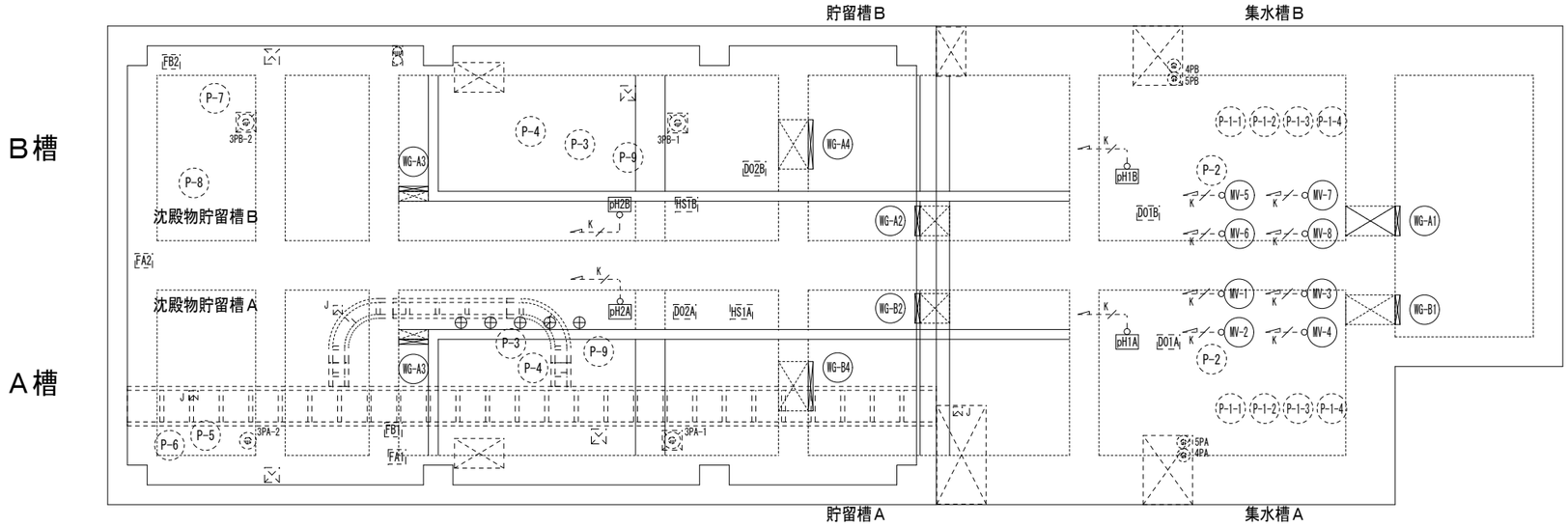


太枠内更新箇所

工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	A１：－ A３：－	8
図面名称 （吉田南構内）システム系統図	令和　６年　７月	



放流水路（放流水質計測機器）



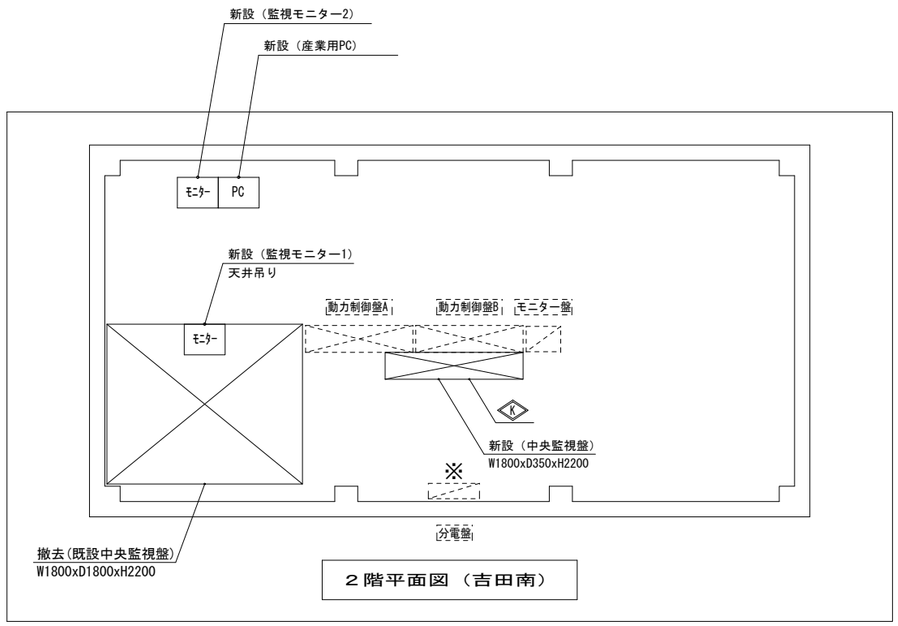
凡例

1.図中、特記なき配線（配管）は下記のとおりとする。

----------	露出配管	
—·—·—·—	ケーブル配線	
- - - - - -	既設管路	
—K—	EM-CE2° -2C	（電源）
	EM-CEE1.25° -6C	（電動弁）
	EM-CEES1.25° -2C	（計測）
	EM-CEES1.25° -3C	（計測）

2.図中、特記なきシンボルは下記のとおりとする。

⊠	プルボックス	
⊠ J	100Vジョイント用　150□x100	
(P-x)	ポンプ	
(MV-x)	電動弁	（設備工事）
(WG-x)	ゲート	（設備工事）
Fxx	フロースイッチ（既設）	
pHxx	pH計	
ECxx	導電率計	
FIxx	流量計	
Txx	温度計	
DOxx	溶存酸素計（既設）	
HSxx	硫化水素濃度計（既設）	
ﾓﾆﾀｰ	監視システム用モニター	
PC	監視システム用パソコン	
⊕ rp	電極（既設）	



２階平面図（吉田南）

K 2F 中央監視盤

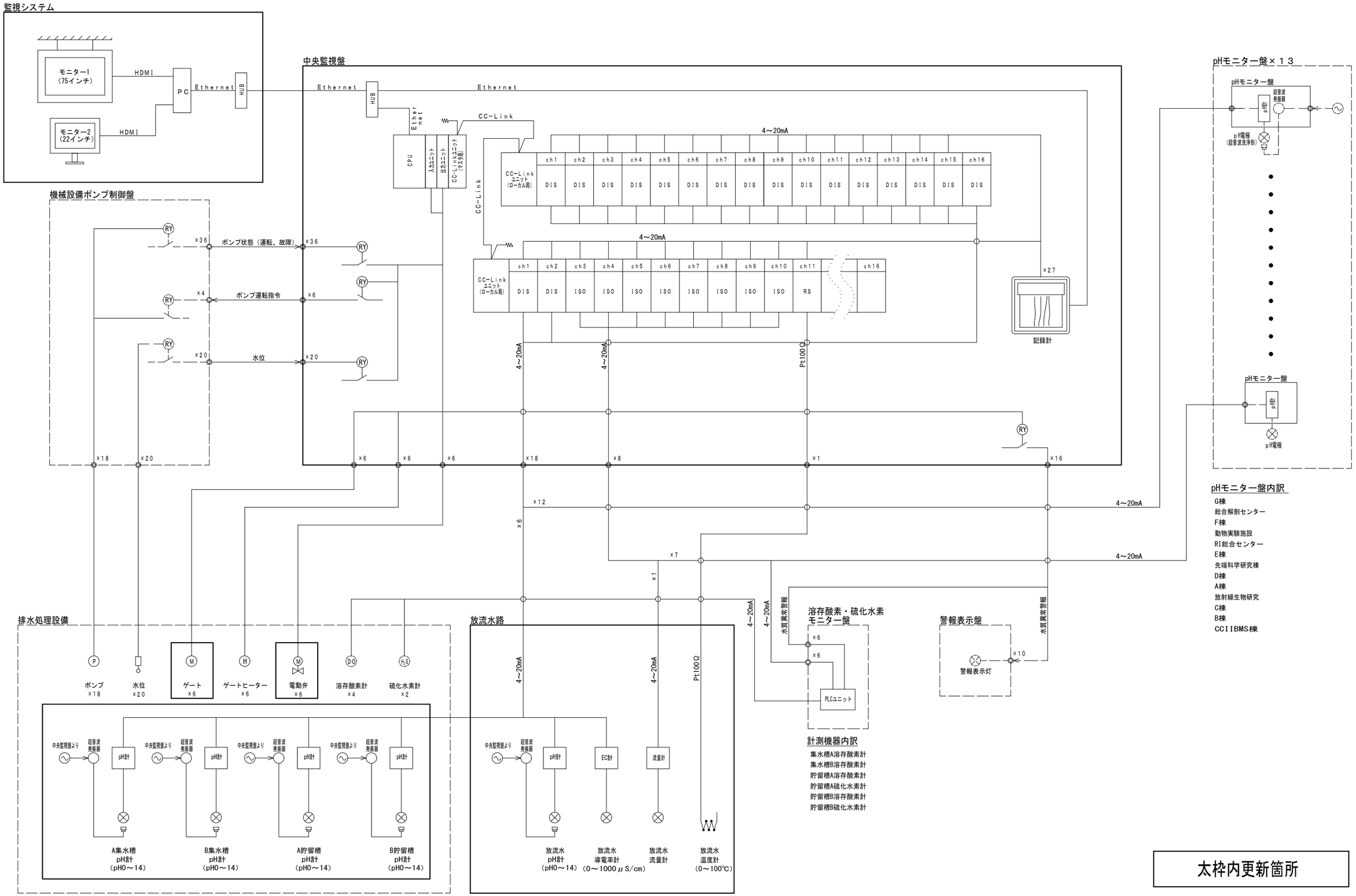
負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ
MV-1	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH1A	pH計	—	CE2° -2C
MV-2	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-3	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH1B	pH計	—	CE2° -2C
MV-4	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-5	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH2A	pH計	—	CE2° -2C
MV-6	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-7	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH2B	pH計	—	CE2° -2C
MV-8	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
WG-A1	ゲート	0.75	CE2° -3C	pH0	pH計	—	CE2° -2C
WG-A2	ゲート	0.75	CE2° -3C				CEES1.25° -2C
WG-A3	ゲート	0.75	CE2° -3C	EC0	導電率計	—	CEES1.25° -2C
WG-B1	ゲート	0.75	CE2° -3C	FI0	流量計	—	CEES1.25° -2C
WG-B2	ゲート	0.75	CE2° -3C	T0	温度計	—	CEES1.25° -3C
WG-B3	ゲート	0.75	CE2° -3C				

更新機器・計器の配線は
既設利用とする。

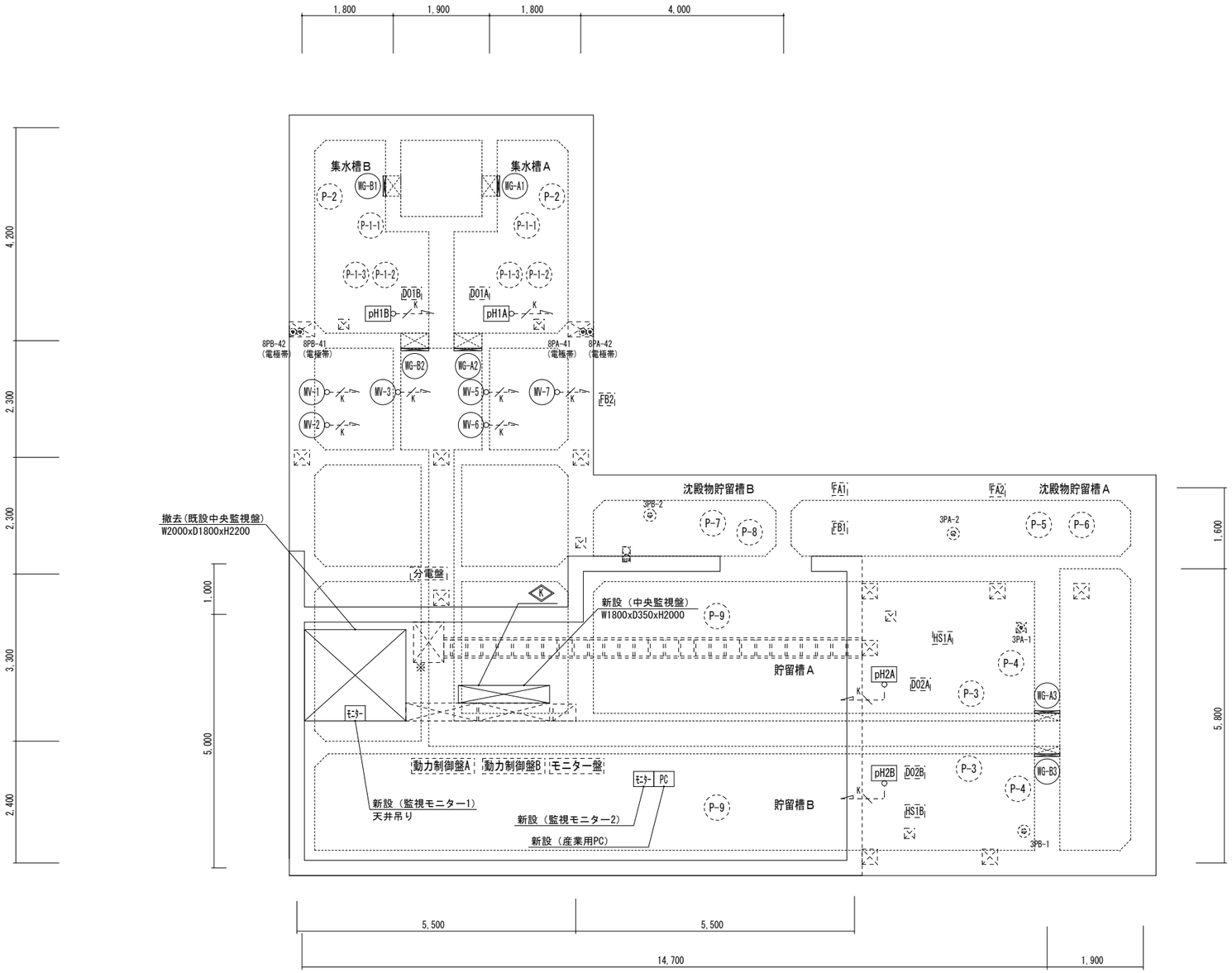
注記

1．　※　部は、既設分電盤に下記のブレーカーの増設及び撤去・新設を行う。
2．　増設：1-100,20/20（MCCB）、撤去：3-200,50/20、新設：3-200,→50/50（MCCB）
3．　⊕　部は、2階床ダイヤモンド開口を示す。（１００φx５か所）
4．　壁・床のハツリ工事（ダイヤモンド開口含む）行う場合は必ず走査式埋設物調査
　　又は放射線透過検査を行う事。
5．　貫通後は穴埋めを行う事。
6．　既設盤撤去後の床補修は行う事。

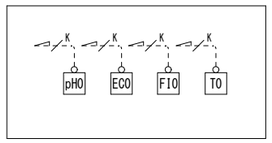
工事名称	京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	縮尺	A１：－ A３：－
図面名称	（吉田南構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	令和　６年　７月	図面番号 9



工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	A１：－ A３：－	１０
図面名称 （医学部構内）システム系統図	令和　６年　７月	



凡例		
1.図中、特記なき配線（配管）は下記のとおりとする。		
----------	露出配管	
—·—·—·—	ケーブル配線	
- - - - - -	既設管路	
- - - -K- - -	EM-CE2° -2C	(電源)
	EM-CEE1.25° -6C	(電動弁)
	EM-CEES1.25° -2C	(計測)
	EM-CEES1.25° -3C	(計測)
2.図中、特記なきシンボルは下記のとおりとする。		
⊠	プルボックス	
(P-x)	ポンプ	
(MV-x)	電動弁	(設備工事)
(WG-x)	ゲート	(設備工事)
Fxx	フロースイッチ（既設）	
pHxx	pH計	
ECxx	導電率計	
FIxx	流量計	
Txx	温度計	
DOxx	溶存酸素計（既設）	
HSxx	硫化水素濃度計（既設）	
ﾓﾆﾀｰ	監視システム用モニター	
PC	監視システム用パソコン	
(⊕) rP	電極（既設）	



放流水路（放流水質計測機器）

◇K 中央監視盤

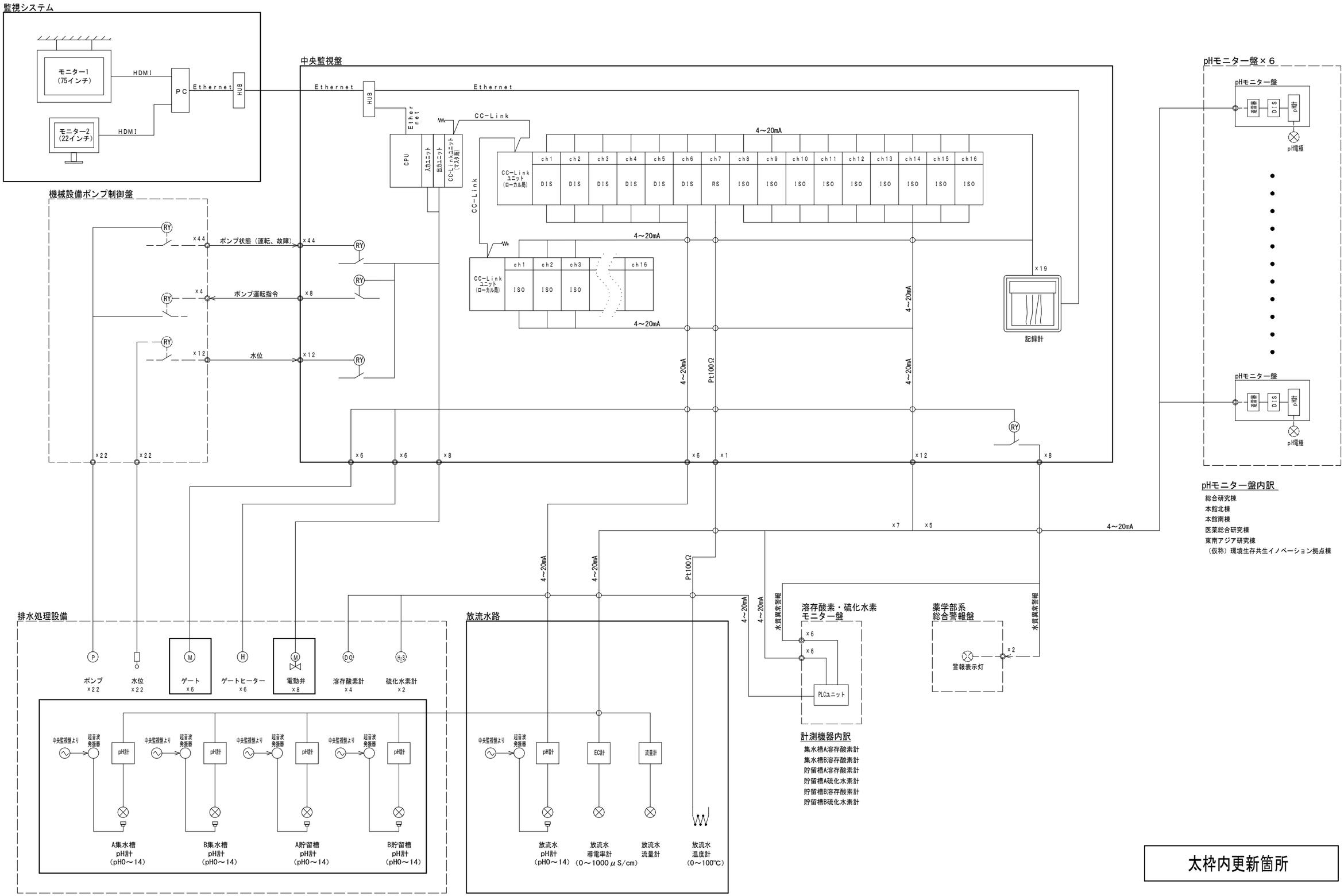
負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ
MV-1	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH1A	pH計	—	CE2° -2C CEES1.25° -2C
MV-2	電動弁	—	CEE1.25° -6C				
MV-3	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH1B	pH計	—	CE2° -2C CEES1.25° -2C
MV-5	電動弁	—	CEE1.25° -6C				
MV-6	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH2A	pH計	—	CE2° -2C CEES1.25° -2C
MV-7	電動弁	—	CEE1.25° -6C				
WG-A1	ゲート	0.75	CE2° -3C	pH2B	pH計	—	CE2° -2C CEES1.25° -2C
WG-A2	ゲート	0.75	CE2° -3C				
WG-A3	ゲート	0.75	CE2° -3C	pH0	pH計	—	CE2° -2C CEES1.25° -2C
WG-B1	ゲート	0.75	CE2° -3C				
WG-B2	ゲート	0.75	CE2° -3C	EC0	導電率計	—	CEES1.25° -2C
WG-B3	ゲート	0.75	CE2° -3C	FI0	流量計	—	CEES1.25° -2C
				T0	温度計	—	CEES1.25° -3C

注記

1.　※　部は、既設分電盤に下記のブレーカーの増設及び撤去・新設を行う。
2.　増設：1-100,20/20（MCCB）、撤去：3-200,50/20、新設：3-200,→50/50（MCCB）
3.　既設盤撤去後の床補修は行う事。

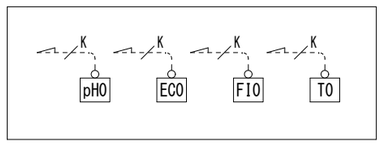
更新機器・計器の配線は
既設利用とする。

工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	A1：－ A3：－	11
図面名称 （医学部構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	令和　6年　7月	

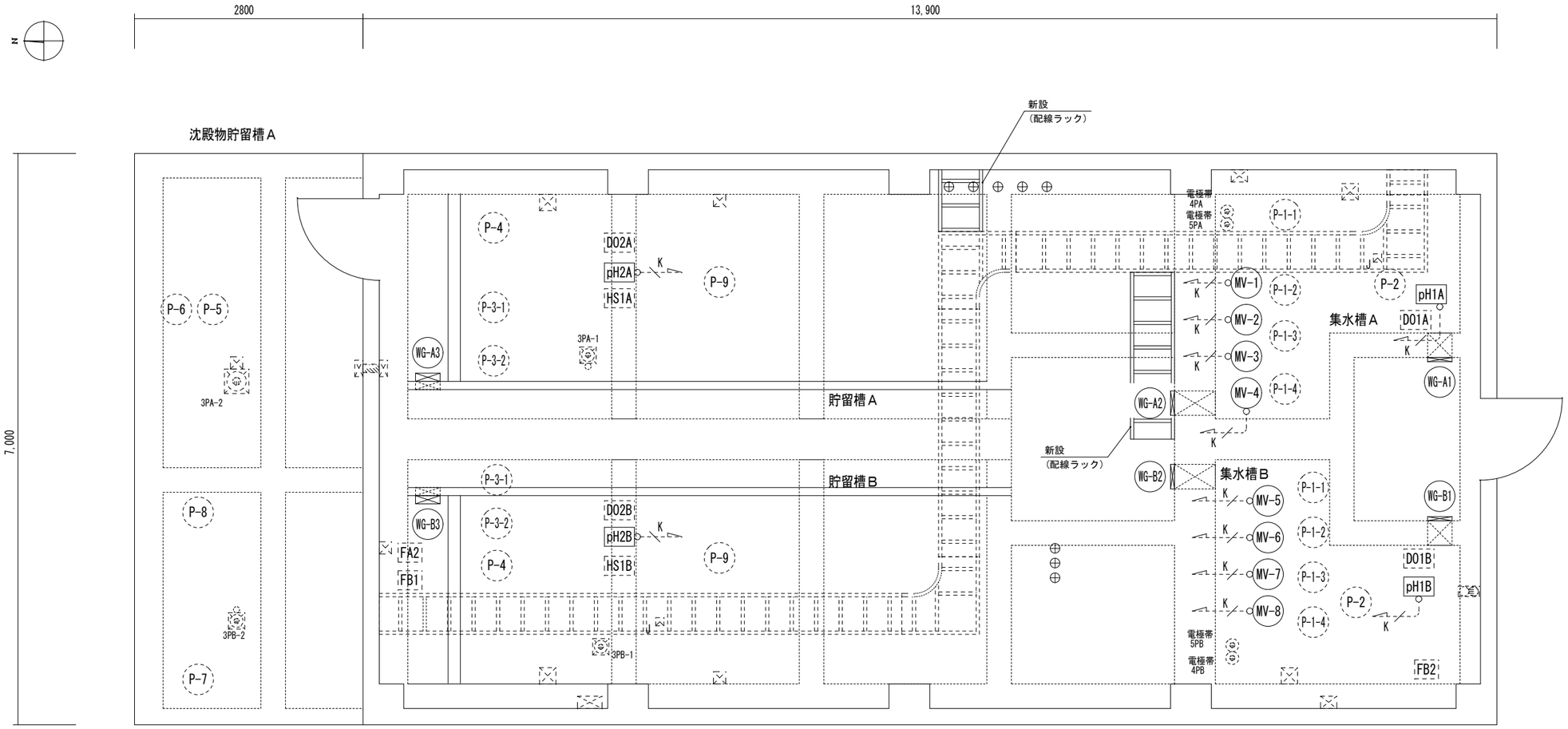


太枠内更新箇所

工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	A１：－ A３：－	１２
図面名称 （薬学部構内）システム系統図	令和　６年　７月	



放流水路（放流水質計測機器）



凡例		
1.図中、特記なき配線（配管）は下記のとおりとする。		
----------	露出配管	
—·—·—·—	ケーブル配線	
- - - - - -	既設管路	
----K----	EM-CE2° -2C	（電源）
	EM-CEE1.25° -6C	（電動弁）
	EM-CEES1.25° -2C	（計測）
	EM-CEES1.25° -3C	（計測）
2.図中、特記なきシンボルは下記のとおりとする。		
⊠	ブルボックス	
⊠	100Vジョイント用　150□x100	
(P-x)	ポンプ	
(MV-x)	電動弁	（設備工事）
(WG-x)	ゲート	（設備工事）
Fxx	フロースイッチ（既設）	
pHxx	pH計	
ECxx	導電率計	
FIxx	流量計	
Txx	温度計	
DOxx	溶存酸素計（既設）	
HSxx	硫化水素濃度計（既設）	
ﾓﾆﾀｰ	監視システム用モニター	
PC	監視システム用パソコン	
(⊕) HP	電極（既設）	

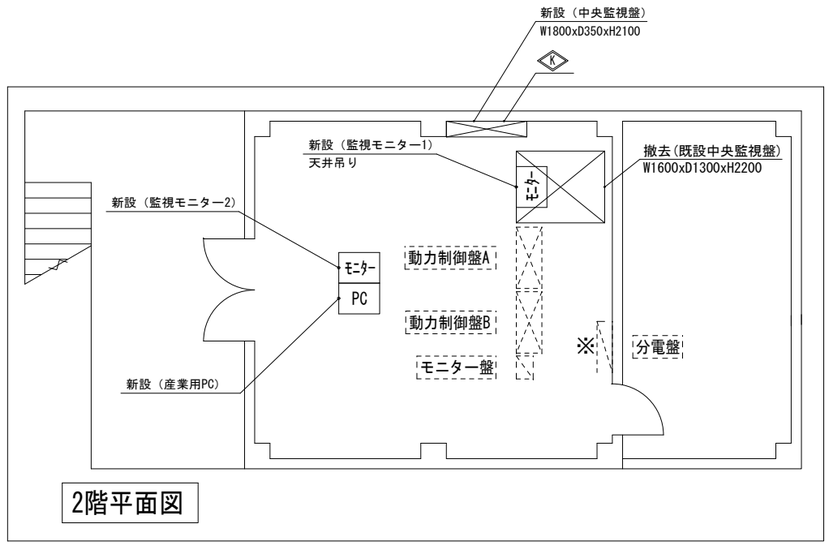
K 2F 中央監視盤

負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ
MV-1	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH1A	pH計	—	CE2° -2C
MV-2	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-3	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH1B	pH計	—	CE2° -2C
MV-4	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-5	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH2A	pH計	—	CE2° -2C
MV-6	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
MV-7	電動弁	—	CEE1.25° -6C	pH2B	pH計	—	CE2° -2C
MV-8	電動弁	—	CEE1.25° -6C				CEES1.25° -2C
WG-A1	ゲート	0.75	CE2° -3C	pH0	pH計	—	CE2° -2C
WG-A2	ゲート	0.75	CE2° -3C				CEES1.25° -2C
WG-A3	ゲート	0.75	CE2° -3C	EC0	導電率計	—	CEES1.25° -2C
WG-B1	ゲート	0.75	CE2° -3C	FI0	流量計	—	CEES1.25° -2C
WG-B2	ゲート	0.75	CE2° -3C	T0	温度計	—	CEES1.25° -3C
WG-B3	ゲート	0.75	CE2° -3C				

更新機器・計器の配線は
既設利用とする。

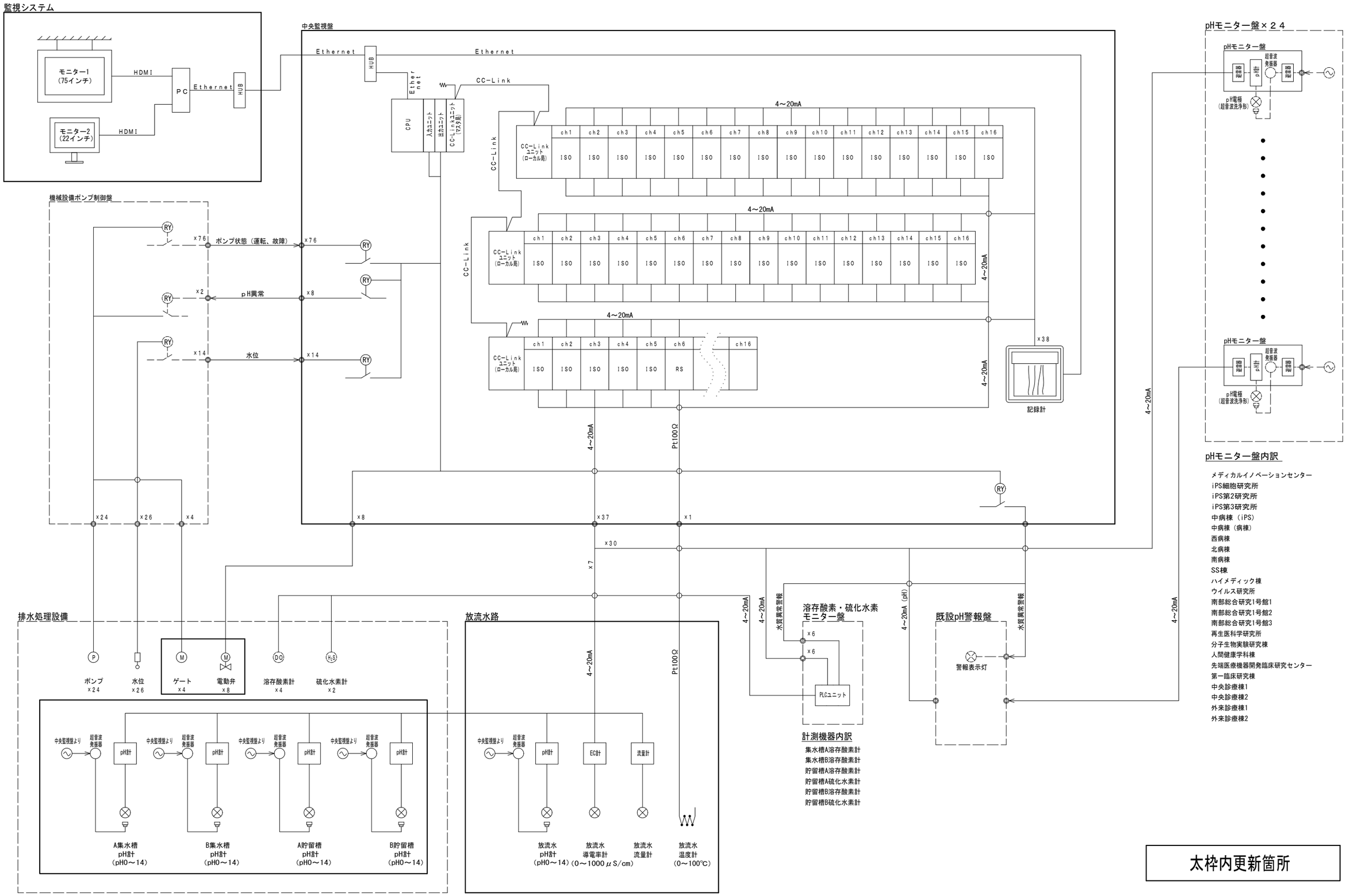
注記

1．　※　部は、既設分電盤に下記のブレーカーの増設及び撤去・新設を行う。
2．　増設：1-100,20/20（MCCB）、撤去：3-200,50/20、新設：3-200,→50/50（MCCB）
3．　⊕　部は、2階床ダイヤモンド開口を示す。（１００φx８か所）
4．　壁・床のハツリ工事（ダイヤモンド開口含む）行う場合は必ず走査式埋設物調査
　　又は放射線透過検査を行う事。
5．　貫通後は穴埋めを行う事。
6．　既設盤撤去後の床補修は行う事。



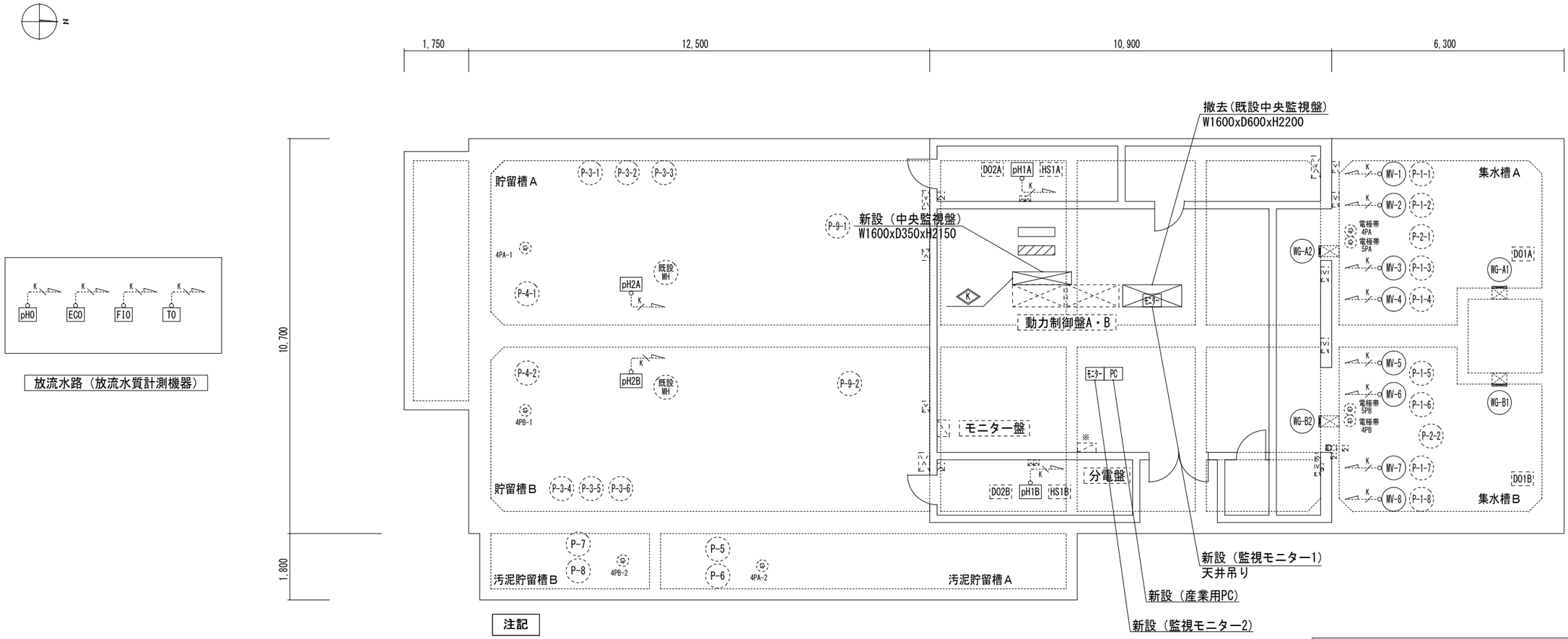
2階平面図

工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	Ａ１：－ Ａ３：－	１３
図面名称 （薬学部構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	令和　６年　７月	



太枠内更新箇所

工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	A１：－ A３：－	１４
図面名称 （病院構内）システム系統図	令和　６年　７月	



注記

1，　※　部は、既設分電盤に下記のブレーカーの増設及び撤去・新設を行う。
2，　増設：1-100,20/20（MCCB）、撤去：3-200,50/20、新設：3-200,→50/50（MCCB）
3，　既設盤撤去後の床補修は行う事。

凡 例

記 号	名 称	備 考	
	照明器具	LED埋込下面開放　LRS6-4-30	新設
	照明器具	埋込下面開放　　Hf32W×1灯用	撤去

中央監視盤

負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ	負荷記号	名称	容量	ｹｰﾌﾞﾙｻｲｽﾞ
MV-1	電動弁	—	CEE1.25°-6C	pH1A	pH計	—	CE2°-2C CEES1.25°-2C
MV-2	電動弁	—	CEE1.25°-6C				
MV-3	電動弁	—	CEE1.25°-6C	pH1B	pH計	—	CE2°-2C CEES1.25°-2C
MV-4	電動弁	—	CEE1.25°-6C				
MV-5	電動弁	—	CEE1.25°-6C	pH2A	pH計	—	CE2°-2C CEES1.25°-2C
MV-6	電動弁	—	CEE1.25°-6C				
MV-7	電動弁	—	CEE1.25°-6C	pH2B	pH計	—	CE2°-2C CEES1.25°-2C
MV-8	電動弁	—	CEE1.25°-6C				
WG-A1	ゲート	0.75	CE2°-3C	pH0	pH計	—	CE2°-2C CEES1.25°-2C
WG-A2	ゲート	0.75	CE2°-3C				
WG-B1	ゲート	0.75	CE2°-3C	EC0	導電率計	—	CEES1.25°-2C
WG-B2	ゲート	0.75	CE2°-3C	F10	流量計	—	CEES1.25°-2C
				T0	温度計	—	CEES1.25°-3C

更新機器・計器の配線は
既設利用とする。

凡例		
1.図中、特記なき配線（配管）は下記のとおりとする。		
	露出配管	
	ケーブル配線	
	既設管路	
	EM-CE2°-2C	（電源）
	EM-CEE1.25°-6C	（電動弁）
	EM-CEES1.25°-2C	（計測）
	EM-CEES1.25°-3C	（計測）
2.図中、特記なきシンボルは下記のとおりとする。		
	ブルボックス	
P-x	ポンプ	
MV-x	電動弁	（設備工事）
WG-x	ゲート	（設備工事）
Fxx	フロースイッチ（既設）	
pHxx	pH計	
ECxx	導電率計	
FIxx	流量計	
Txx	温度計	
DOxx	溶存酸素計（既設）	
HSxx	硫化水素濃度計（既設）	
モニター	監視システム用モニター	
PC	監視システム用パソコン	
EP	電極（既設）	

工事名称	縮尺	図面番号
京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備）（Ⅱ期）工事	A1：－ A3：－	15
図面名称 （病院構内）実験排水処理設備　平面図（撤去・改修）	令和　6年　7月	